



※ 特別整理期間のため、10月7日（火）～12日（日）はお休みです ※



にゃよいが1歳になりました。

いつも様々なイベントに登場して皆さまに可愛がっていただいている、やよい図書館のマスコットキャラクター「にゃよい」。昨年10月に利用者の皆さまからの公募で決定し、今月1歳の誕生日を迎えました。

知ってるよ！という方はもちろん、初めて見た！という方も、これからも「にゃよい」をよろしくお願いします。



10月は図書館で『誕生日・記念日の本』を特集するよ！
みんなが祝いしてくれと嬉しいにゃ～♪

フレーズ&センテンス

「ランチをのぞけば、人生が見えてくる。」

NHKの番組でもおなじみ、働く人たちのランチを紹介するほぼ写真の本です。それぞれのおいしそうなお店は、その職業や人生を深く語ります。仕事の合間に食べる昼ごはんは、活力の元でありほっとする時間。それにしてもいろいろなランチ！修行僧や新幹線清掃員、プロサッカー選手、社長が作ってくれるお昼を食べる会社…。それぞれのメニューとは？登場するみなさんはとてもエネルギッシュでパワーがもらえます。おいしいランチに支えられているんですね。今は亡き有名人が通ったお店を紹介する「あの人が愛した昼飯」も必見です。読んでいるうちにお腹すいた！

『サラメシ』 学研パブリッシング/編 Gakken

(中井)

Cinema library 第7回 レモニー・スニケットの世にも不幸せな物語

この本の冒頭には「ハッピーエンドの物語のほうがお好みの読者諸兄には、ほかの本を読むことをおすすめしたい。」と書かれています。冗談かと思いきや本当にその通りの本なんです！

ある日、ボードレール家の三兄弟が砂浜で遊んでいると、自宅が火事で燃えてなくなり、両親も亡くなったと知らせを受けます。三人の身元引受人はオラフ伯爵。彼は子どもたちの遺産目当てに三人を暗殺しようとあの手この手を使います。しかしここで登場する三人の子どもたちも負けてはいません。個性豊かな三人の意思の強さと頭の回転で、どんな不運も乗り越えます。やっとの思いでオラフ伯爵を懲らしめた！と胸をなでおろすのも束の間、ヘビのように執念深いオラフ伯爵は、また次の作戦を立て子どもたちに近付きます。立ち直る暇も与えず次はどんな不幸が待ち構えているのか、ページをめくる手が止まらなくなることでしょう。

映画は原作3シリーズを織り交ぜた話になっており、伯爵役はジム・キャリーが演じています。不愉快だけど中身はたいへんユニークで、大人も子どもも楽しめます。児童書は全部で13巻、全シリーズのラストは一体どうなるのか！？ぜひ読んで確かめてみてください。

・『最悪のはじまり』レモニー・スニケット/著 草思社

・『Hitch; The Art of Suspense アルフレッド・ヒッチコックの世界』ネコ・パブリッシング

今回は『スカイ・クロラ』です。お楽しみに！

(佐藤)



★「絵本のちから」をかりて、時にはじんわり～♡な応援も★

子育て中のパパさんママさん、1日の中でお子さんに「ちゃんと○○ね！」「しっかり！」「(もっと)頑張って！」みたいな叱咤激励のことば、結構使っていませんか？ふと、子どもと離れた時間や可愛い寝顔を見た時には、（子どもだって、生まれた瞬間から頑張って生きているのよねえ）なんてしみじみ思うのですが、本人を目の前にすると、ついつい「さあ頑張って～！」と力が入り過ぎてしまう…あ、これは私です（苦笑）
勿論、これも親の愛情なんですけど、子どもがヤル気満々ならともかく、本人以上に気合の入った親の表情、目力って…怖い！？やっぱり、子どもには、ちょっとプレッシャーかしらねえ（苦笑）

「おうちえほん」は、1日のうち3分でも10分でも（1分で読める絵本も！）おうちで子どもに絵本を読んであげればよいの。ね、親は読むだけ。忙しくてできそうでしょ。こんなに短い時間なのに、絵本の優しい絵と自分の声をとおして語られる絵本のことばが、そして何よりも穏やかな親子の時間が、時として「頑張って！」のことばよりも子どもの心に直球で届いて、“出来る！”を応援してやれたり、じんわりと優しく「だいじょうぶだよ」と伝えることができたり。大切なのは“パパママの声で読んであげること”ですよ♪

★今月の絵本★ 読むだけで元気になれる絵本たち

『ハグしてぎゅっ！』ナンシー・カールソン 作・絵/なかがわ ちひろ 訳 (瑞雲舎)

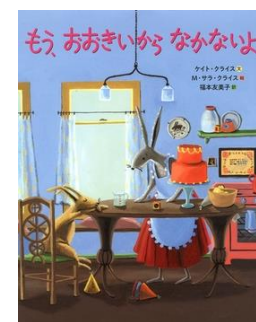
朝起きたくないな、かけっこでビリだった・・・、会えて嬉しい！「ハグ」は相手に「大好き♡」を伝えるだけでなく、その時々色んな想いも同時に伝え合うことができるのよね。我が子に「大好き」をうまく伝えられないパパママにもオススメ。読んでもらったら子どもは絶対に嬉しい♡



『もう、おおきいからなかないよ』ケイト・クライス 文/M・サラ・クライス 絵

福本友美子 訳 (徳間書店)

タイトルからして、“ほうら、泣かないのはカッコイイね！”とか、“もうお兄ちゃんなんだから…”系の絵本かな、と思ったでしょ。でもそうではないのよ。
「ぼくは赤ちゃんじゃないからね！」と誇らしげな、もうすぐ5歳になるうさぎくんのお誕生会に至るまでのお話。泣き虫クンにも強がりチャンにも是非♪
ママはきっと、じーん（涙）としちゃうかな。



『ぐりとぐらのおまじない』なかがわりえこ さく/やまわきゆりこ え (福音館書店)

大きさが、なんと13×13cmの手のひらサイズ！お出かけのお供にも便利な、小さくてカワイイ～この絵本。あの“ぐりとぐら”が様々なシーンで、とおきのおまじないをしてくれるのよ。そのおまじないというのが、育児の強～いミ・カ・タ♡ スマホの躰アプリに頼らずに、「ちちんぷいのぴん」「ちちんぷいのぱっぱっぱっ」大好きなパパとママの声で子どもを応援しましょ♪

